

6 日中経業第 39 号
2024 年 8 月 23 日

各位

一般財団法人日中経済協会
理事長 佐々木 伸彦

日中経済協会「中国自動運転考察ミッション」参加御案内

謹啓 時下ますます御清祥の事とお慶び申し上げます。

当協会の事業活動におきましては、平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では地域・テーマ別の交流を重点事業とし、その一環として、中国の自動運転分野に焦点を当てた訪中考察ミッションの派遣を計画しております。

自動運転技術を巡っては、世界的な研究開発・社会実装が進むなか、とりわけ発展の著しい中国の現状を理解することを目的に、本分野での実証事業で世界をリードしている上海、蘇州、武漢等のモデル事業やメーカー等を訪問する予定です。

本ミッションへの参加を通じて、中国における最新の技術開発や社会実装の動向を直接確認いただき、さらに関係者との交流を通じて、未来のモビリティに関する貴重な知見とネットワークを蓄積する機会としていただければと存じます。

当協会と致しましても、近年ますます目が離せない中国・自動運転分野への理解の一助と新たなビジネスのヒントとなればと期待しておりますところ、本ミッションへの御参加につき、是非とも積極的に御検討くださりますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 程：2024 年 12 月 3 日（火）～7 日（土） ※活動内容は別紙 1 を御参照下さい。
2. 訪問先：上海市（浦東新区・嘉定区）～江蘇省蘇州市～湖北省武漢市
3. 主 催：一般財団法人日中経済協会
4. 規 模：最少催行人数 15 名 ※当協会は、理事長・佐々木伸彦が参加予定です。
5. 案内先：当協会賛助会員ほか（参加者レベルなどは特に設定しておりません、中国現地からの御参加も歓迎いたします。）
6. 費 用：別紙 2 を御参照下さい。
7. 申し込みサイト：<https://jcpage.jp/jcevent/op/367>（〆切：10 月 25 日（金））
※参加申込後の登録内容確認メールに、企業紹介文、顔写真、パスポート（身分証）コピー等、提出物のお願いを記載しておりますので御確認ください。
8. 御問い合わせ：一般財団法人日中経済協会業務部（担当：澤津）
TEL: 03-5545-3113 e-mail: naoya.sawazu@jc-web.or.jp

本ミッションの派遣前ブリーフィングを兼ねたオンラインセミナーを、9 月 20 日（金）に開催いたします。どなたでも無料にて御視聴いただけます。委細は別添資料を御参照下さい。

日程（案）

2024年8月23日現在

日程	時間	活動内容	宿泊
12月3日 (火)	08:40→10:55 12:30～13:30 13:30～15:30 16:00～17:30 18:00～20:00 21:00	羽田→上海浦東 (MU576/JL5791) 昼食 (上海金橋集団) 浦東金橋開発区 (自動運転事業紹介と試乗) 自動車関連R&D、部品製造企業等見学想定 浦東金橋開発区主催歓迎夕食会 ホテルチェックイン	上海汽車城瑞立酒店 嘉定区安亭鎮 博園路6966号 TEL: 021-3991-7777
12月4日 (水)	08:30 09:30～12:00 12:30～13:30 14:00～16:00 16:00→17:30 18:00～19:30	ホテルチェックアウト、出発 上海汽車城 (自動運転事業紹介と試乗) 団内昼食 上海汽車城 (自動運転事業紹介と試乗) 嘉定区→蘇州市相城区 (バス) 蘇州市招宴	蘇州高鉄金科大酒店 相城区南天成路67号 TEL: 0512-6937-8888
12月5日 (木)	08:30 09:00～12:00 12:00～13:00 14:03→18:52 19:30～21:00	ホテルチェックアウト、出発 Momenta、ロボバス実証実験 (高鉄新城) 蘇州市相城区招宴 蘇州→漢口 (武漢) (D3026) 団内夕食 (現地ブリーフィング)	武漢聯投麗笙酒店 武漢經濟技術開發区 車城大道269号 TEL: 027-8475-6666
12月6日 (金)	08:30 09:00～11:30 11:30～12:30 13:30～14:30 15:30～17:00 18:00～20:00	ホテル出発 武漢市經濟技術開發区車谷創新中心 (展示館見学、ロボタク試乗等) 団内昼食 武漢智能網聯汽車測試場 格林美リチウム電池リサイクル工場 団内夕食 (現地企業との交流)	同上
12月7日 (土)	06:00 08:55→13:25	ホテルチェックアウト、出発 武漢→成田 (MU2615)	

参加経費について

原則として現地集合、現地解散とします（上海浦東空港集合・武漢天河国際空港解散）

- **共通経費：** ※日中経済協会東京本部より円建てによる事後請求となります。
 - ✓ 団体バス代
 - ✓ 高速鉄道代（蘇州→武漢／一等座）
 - ✓ 通訳代（謝金、旅費）
 - ✓ 旅行ガイド代
 - ✓ 事務局雑費・管理費・一部人件費
 - ✓ 食事代
- 16～21 万円**
 ※実際経費に基づき御請求申し上げます
 ※日中経済協会賛助会員は請求額から3万円/人を御値引き致します
 ※原則途中合流・途中離団に伴う減額措置はございません
- **参加者自己負担：** ※上記共通経費とは別途です。
 - ✓ 宿泊費（上海市内、蘇州市内各1泊、武漢市内2泊）
 ※チェックアウト時に自己精算ください。
 - ✓ 往復航空運賃（①羽田→上海浦東、②武漢→成田）
 ※事務局手配の場合、日本の本団指定旅行社より円建てによる事後請求となります。

● **経費概算：**

ホテル※1	12月3日泊 上海汽車城瑞立酒店	568 元/泊
	12月4日泊 蘇州高鉄金科大酒店	460 元/泊
	12月5～6日泊 武漢聯投麗笙酒店	500 元/泊
フライト (国際) ※2	12月3日 羽田→上海浦東 (MU576/JL5791)	219,440 円 C 席
	12月7日 武漢→成田 (MU2615) ※C 席・Y 席ともに、発券後の変更・取消は有料で可の参考価格です。	97,340 円 Y 席
高速鉄道※3	12月5日 蘇州→漢口 (D3026)	17,300 円 一等座
食事	昼 (飲物別概算)	3,000 円/人
	夕 (同上)	6,000 円/人

※1：各ホテルは、チェックアウト時自己精算をお願いします。すべて朝食付きです。

※2：フライトは国際、国内ともにサーチャージ（将来的な値上げ可能性あり）・TAX・発券手数料等込みですが、今後の空席状況次第で料金変動の可能性があります。

※3：高速鉄道は事務局一括手配とし、上記「共通経費」に含めて御請求申し上げます。

● **本団指定旅行社**

日新航空サービス株式会社 日中平和観光事業室（担当：松本様・櫻井様）

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー10 階

TEL: 03-5358-1809 FAX: 03-5358-1888 e-mail: k-matsumoto@nissin-trvl.co.jp

【重要】中国渡航ビザについて

2020年3月10日より日本国籍の方に対してのビザ免除措置は一時停止しており、中国へ渡航する際にはビザの取得が必要となります。ビザが必要な方は、日新航空サービスにて取得手続きの代行サービス（有料）も行っておりますので、事務局まで御相談ください。基本的な流れや経費は、以下の案内を御参照ください。

☞ https://jcpage.jp/ad_m/nissin-trvl_visa_info.pdf

参考資料 中国自動運転考察ミッション派遣にあたって

1. 事前オンラインセミナーの御案内（※要・事前申し込み）

参加検討の御参考に、本ミッションの派遣前ブリーフィングを兼ねたセミナーを実施します。

◇ 日時：9月20日（金）日本時間 15:00～16:40 / 中国時間 14:00～15:40（Zoom 使用）

◇ 講師及び仮題： ※すべて日本語で進行

^{Harry NA}
(1) 那小川・Trasn-N 株式会社代表取締役社長「中国の自動運転業界の現状と課題」
ローランド・ベルガー、China Renaissance 等で戦略コンサル・ベンチャー投資を経験、また、Roadstar.ai、Corage.ai と 2 度の自動運転ビジネスの起業も経験。今年 4 月、AI コンサル・Trans-N を創業。東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了。

^{Gordon PAN}
(2) 潘慶・株式会社ティアフォー グレーターチャイナリージョン総経理「自動運転業界の日中対比」
2020 年入社以来、世界初の自動運転オープンソースソフトウェア「Autoware」の普及に従事。現職以前は、ソニー、インテル、パナソニックで、ビジネス開発などの IT 実務に従事。上海交通大学電子情報学院卒業、立命館大学 MOT 大学院テクノロジー・マネジメント研究科修士課程修了。

◇ 申し込み方法：下記に氏名、所属などを御登録ください（〆切：9月18日（水））

☞ <https://jcpage.jp/jcevent/op/368>

☆ Zoom URL はセミナー前日までに御申し込みメール宛てに送付いたします。

☆ 本セミナーは、ミッション参加に関係なく、どなたでも無料にて視聴いただけます。

2. 訪問予定先の概要

- **上海金橋経済技術開発区（浦東新区内）**：浦東新区とともに 34 年を経て、長江デルタを代表する外資系製造業の集積地に。自動運転には、華為、ベンツ、BOSCH のほか、百度、小米も積極的に参入し、それぞれ R&D 拠点を金橋に設立。百度、Pony.ai、AutoX による完全自動運転の実証実験が進められているほか、小米、華為などの IT 企業も区内の幹線道路にて自動走行の試運転を行っている。
- **上海汽車城**：上海市政府が推進する「国家インテリジェント・コネクテッド・カー（上海）模範エリア」の具体的な建設を行う国有企業。自動車に関わる研究開発、製造、サービス、教育など一つのまとまった自動車関連技術・サービスの産業チェーンを形成。
- **蘇州高鉄新城**：高速鉄道・蘇州北駅に隣接し、特に自動運転技術の実証実験が活発。報道によれば、日産自動車、住友ゴム工業等多くの日系企業が関与。上海や南京へのアクセスも良好で、ビジネスと技術革新のハブとして成長中。Microsoft 出身者が創業し、トヨタ自動車等も出資する Momenta など、スタートアップ・ベンチャー企業も集積。
- **武漢経済技術開発区**：1993 年 4 月に国家級開発区として認可。計画面積は 490km²。区内には自動車産業クラスターが形成され、東風自動車をはじめとする自動車メーカーが進出（日系では日産、ホンダ等）。2021 年に中国全土の新エネ・自動運転の重点エリアに選定され、5G を駆使した重点実証試験区が整備された。最先端 EV 開発と共に、情報の安全性に係わる実証試験が繰り返され、膨大な情報がここ武漢に集約されている。

3. 本ミッションの行程図



4. 参考リンク集：日中経済協会の情報発信 クリックで詳細が表示されます

◆「自動運転に関する日中官民合同セミナー」開催報告と配布資料

- ✓ [第4回（2023年3月・オンライン）](#)
- ✓ [第3回（2022年2月・オンライン）](#)
- ✓ [第2回（2019年3月・北京）『日中経協ジャーナル』2020年2月号／通巻313号](#)

◆「日中省エネルギー・環境総合フォーラム」各回分科会の配布資料

- ✓ [第16回：自動車の電動化・スマート化分科会（2023年2月・オンライン）](#)
- ✓ [第15回：自動車の電動化・スマート化分科会（2021年12月・オンライン）](#)
- ✓ [第14回：自動車の電動化・スマート化分科会（2020年12月・オンライン）](#)
- ✓ [第13回：自動車の電動化・スマート化分科会（2019年12月・東京）](#)
- ✓ [第12回：自動車の電動化・スマート化分科会（2018年11月・北京）](#)
- ✓ [第11回：自動車の知能化・電動化分科会（2017年12月・東京）](#)

◆『日中経協ジャーナル』のスペシャルレポート

- ✓ [中国モビリティ2023（2023年7月号／通巻354号）](#)
- ✓ [中国のモビリティ情勢と未来へのビジョン（2022年8月号／通巻343号）](#)
- ✓ [中国自動車産業の最新動向（2020年7月号／通巻318号）](#)
- ✓ [CASEを中心とした日中自動車産業の展望と課題（2019年6月号／通巻305号）](#)

以上